HALBWERTSZEIT
映画祭 2021

東日本大震災と福島原発事故から10年。
2本の映画をオンライン上映します。

土井敏邦
監督映画

福島は語る

3月11日–17日

1週間無料上映。
ドイツ語字幕付。

事前登録必須（2021年3月10日締切）。登録先リンク：
http://bit.ly/Fukushima10th

登録されたEメールアドレスへ3月11日午前0時に
映画のリンクとピンコードを送付します。
ピンコードは3月18日午前0時以降使えなくなります。

おしどりマコ&ケン
オンライン講演会

フクシマ
原発事故から10年

3月11日–
(無期限)

YouTubeでの無料オンライン講演会動画。
2021年3月11日から無期限上映。
日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、
カタルーニャ語の字幕付。

登録は必要ありません。

動画リンクは以下サイトから2021年3月11日より利用可能：
https://ajisaich.jimdofree.com/

福島は語る

土井敏邦監督
ドキュメンタリー映画
2018年 / 日本 / 155分
日本語（ドイツ語字幕付）

«子供の頃に人を憎んだり
恨んだりしてはいけないと
母から教わりました
それなのに
こんなに辛いのは何故ですか
こんなに悔しいのは
どうしたのでしょう
この先ボクは何を探して
生きていけばいいのでしょう»

福島原発事故から10年になる。しかし「フクシマ」は人びとから「もう終わったこと」として忘れさられようとしている。「東京オリンピック」騒動、そして昨年春以来の新型コロナウイルスの蔓延によって、「フクシマ」はますます人びとの意識から遠のいているように見える。

その一方で、「原発事故」によって人生を狂わされ、夢や未来を奪われ、かつての家族や共同体の絆を断ち切られ、「生きる指針」さえ奪われた被災者たちの「生傷」は癒えることなく、10年を経た今なお、疼き続けている。

その被災者たちが吐露した心底に鬱積（うっせき）した深い思い。100人を超える証言者の中から選び抜かれた14の「福島の声」を、いま日本に住むすべての人に届ける。

現在フリージャーナリストの土井敏邦監督は、パレスチナをはじめ各地を取材。1993年よりビデオ・ジャーナリストとしての活動も開始し、パレスチナやアジアに関する報道映像やドキュメンタリー作品をテレビ・映画・DVDで発表。著書多数。「沈黙を破る」「異国に生きる」「飯舘村」監督。日本ビジュアル・ジャーナリスト協会（JVJA）正会員。

www.doi-toshikuni.net

フクシマ 原発事故 から10年

おしどりマコ&ケン
講演会動画
2021年1月31日 /
よそものネットZoom / 80分
日本語（日本語、英語、ドイツ語、
フランス語、スペイン語、
カタルーニャ語字幕付）

«実際に高い放射線を浴びた
土地や海で農業や漁業を
営んでいる方たちは
今どうしているのでしょうか?»

2021年3月で10周年を迎えるフクシマ。何が収束し復興したのか。リスク、問題点、重要課題は何か。希望はあるのか。事故以来、東電記者会見に通い続け、作業員や市民と交流し、メディアが取り上げない問題点を地道な取材で報告してきた二人が語る、フクシマの現状とこれからの展望。

マコとケンの夫婦コンビ。漫才協会／落語協会／保健物理学会会員。東京電力福島第一原子力発電所事故(東日本大震災)後、随時行われている東京電力の記者会見、様々な省庁、地方自治体の会見、議会・検討会・学会・シンポジウムを取材。また現地にも頻繁に足を運び取材し、その模様を様々な媒体で公開している。2016年「平和・協同ジャーナリスト基金」奨励賞受賞。

http://oshidori-makoken.com

お二人の取材活動を支援する寄付金にもご協力ください。
http://oshidori-makoken.com/?page_id=126

Design : www.iroha.ch

www.halbwertszeit-festival.ch

協賛

solarspar

STOP! スイス アジサイの会 Swiss Ajisai-no-Kai